

効率的な防除で トマト・ミニトマト 病害防除の手間とコストを改善！



ダコニール 1000

「ダコニール」、「ダコニール1000」は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

ミニトマトも
収穫前日まで
使えるよ！

●多くの病気が発生！

葉かび病・
すすかび病が
抑えられない！

どうする？



予防

同時防除

ダコニール
1000

省カ・コスト削減！



おいしい
トマトになろう

■ トマト・ミニトマトの適用病害と使用方法【抜粋】

使用方法	作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	TPNを含む農薬の 総使用回数
散布剤	ミニトマト	疫病、輪紋病、葉かび病、 灰色かび病、炭疽病、すすかび病、 うどんこ病、褐色輪紋病、斑点病	1000	100～ 300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	2回以内
	トマト	【適用場所】 温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	33	10L/10a		4回以内	6回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布、常温煙霧、くん 煙及びエアゾル剤の噴 射は合計4回以内)
土壌灌注		苗立枯病(リゾクトニア菌)	1000	3L/m ²	は種時又は 活着後 但し、定着14日 後まで	2回以内	

<注意>
トマトとミニトマトで
使用回数が違います！



70以上の作物、
およそ180の
病害に登録！

この印刷物の記載内容は2023年5月末現在のものです。
●使用前にはラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、
適切に処理してください。
洗浄水はタンクに入れてください。



病気がまん延すると
数日毎に散布が必要となる
トマトの病害防除！



手間と
コストを
減らす
ポイント

- 1 病気の予防
- 2 同時防除
- 3 **ダコニール 1000**

1 病気の予防

発生前・初発確認後からの予防散布が重要です。



脱っ！
後追い防除



潜伏期間が長い！
病斑が見えなくてもすでに感染
葉かび病・すすかび病



病気の進展が速い！
雨などで急激にまん延
疫病



大量の胞子を作る！
大量の胞子で一気にまん延
灰色かび病・うどんこ病

病気が進展してからの防除は手間とコストがかかります。
病気の出やすい条件、発生部位に注意。しっかり観察し、予防散布をスタート！

2 同時防除

今予防が必要な病気だけでなく、発病リスクのある病気もまとめて防除しましょう。



	発生しやすい条件	部位	▼ ココを観察 ▼	
			発生直後の病徴	典型的な病徴
葉かび病	温度：20～25℃	葉	 かすかにうす黄色の小斑点	 かすかにうす黄色の小斑点
	湿度：多湿			
	その他：施設栽培			
すすかび病	温度：20～30℃	葉	 かすかにうす黄色の小斑点	 かすかにうす黄色の小斑点
	湿度：多湿			
	その他：施設栽培			
疫病	温度：低温（20℃）	葉、茎、果実	 灰緑色の水浸状病斑	 灰緑色の水浸状病斑
	湿度：多湿			
	その他：露地・施設			
灰色かび病	温度：20℃前後	果実/落花部 葉/葉先枯れ部分 落花の付着部	 暗褐色の水浸状病斑	 暗褐色の水浸状病斑
	湿度：多湿			
	その他：施設栽培			
うどんこ病	温度：20℃	葉	 小麦粉状の小斑点	 小麦粉状の小斑点
	湿度：乾燥			
	その他：施設栽培			

3 ダコニール 1000 を有効活用

- 高い予防効果
- 多くの病気を同時防除
- 見分けにくい「葉かび病・すすかび病」もまとめて防除！
- 耐性菌が問題となった報告なし
- 天敵導入圃場の管理にも有効



病気の発生しやすいポイントでは
予防散布を強化

- 散布間隔の調整、浸透移行性、浸達性のある専門剤の活用など。
- 加温開始時期と終了時期は設定温度より暖房が動かない日あり。過湿になりやすいため、換気に努める。

色々な作物の「病害防除のポイント」などを、写真とイラストで分かりやすく解説



ダコニール1000の特設サイト
ダコニール 倶楽部
Daconil Club



トマト・ミニトマトの特設ページはこちら



ダコニール 普及会